

1年生公開授業

10/31(火)は1年生の国語科公開授業『サラダで げんき』が行われました。

授業

1年生は『サラダで げんき』の学習を、ワークシートを使い1人1人がしっかり考えたことを書く活動を大切に、毎時間学習を進めていました。また学習したワークシートの拡大版は、“学びの軌跡”としていつでもふりかえりができるように、教室に掲示されていました。



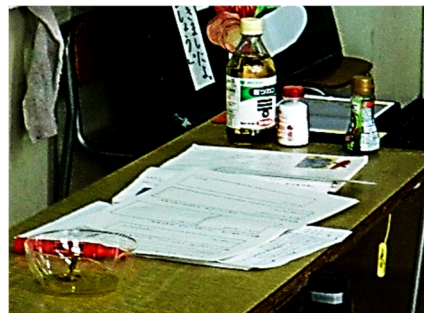
ラミネートでサラダを作成

本文の言葉を丁寧に確認しながら登場の仕方を実際に動作化し、ぞうが急いでやってきたことを読み深めていました。やってきたぞうはサラダに何を入れ、そして今までの動物と違って教えるのではなく実際にすることが何かを読み、さらに深めるためこちらで動作で表現。ぞうの力強さを確認していました。ぞうの入る油・塩・酢で何ができるのかわかりにくい児童のため、こちらは実際に作ってみました。実物を見て“あっ、ドレッシングだ!”と気づく児童も



二人で意見の交換

学習のスタートはそれぞれの音読から。毎日練習に励んでいるので、とてもスラスラ読める児童ばかりです。まずは今までの学習のふりかえり。主人公・りっちゃんがお母さんのためにサラダを作るのですが、色々な動物たちから材料を教えます。まずは教えてもらった材料と、それぞれの材料を食べるとどんな風に元気になるかを、確認しました。そして本時で登場するアフリカぞうがどんな風にやってきて、今回は教えてくれたことではなくしてくれたことは何かを考えまし



本物のドレッシングを作って紹介

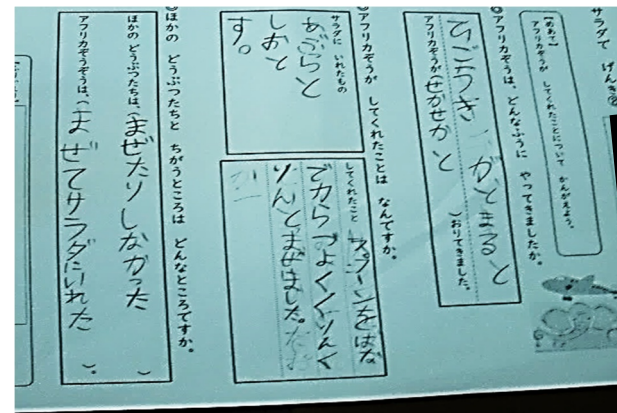
たくさんいました。ぞうの行動もしっかり読み取るためわざと間違った短冊を作って発問し、児童に本文をしっかり読み取らせるような工夫もしていました。今回は学習の前半に全体で読み取ったことを、後半は確認しながらワークシートにまとめ、学習を深めていました。本時のねらいである“ぞうと他の動物たちとの違い”を自分の言葉でワークシートにまとめ、本校で実践している少人数での交流。その後全体で共有し少し時間がオーバーしてしまいましたが、今日

の学習でわかったことをこちらで自分の言葉でまとめて、学習を終えました。

低学年ブロック会・事後研

指導者からは「前時の振り返りに時間をとりすぎて、『動物たちとアフリカぞうの違い』を読み取る時間がとれなかった。時間配分が難しかった。」という反省がありました。参加者からの意見でも時間配分や少しワークシートが盛りだくさんだったという意見もありましたが、それ以上に児童の学習に向かう姿勢や普段の学習への取り組みがしっかり積み上がっているなどの意見が出ました。

特にワークシートについては“1つずつ考えては書き込む・考えては書き込む”のではなく児童全体でめあてを確認し話し合い、考えを深めたのち、ワークシートに取り組む使い方でした。書く欄が多くても児童は集中し、自分の考えやみんなで学習し深めたことをしっかり書き込め



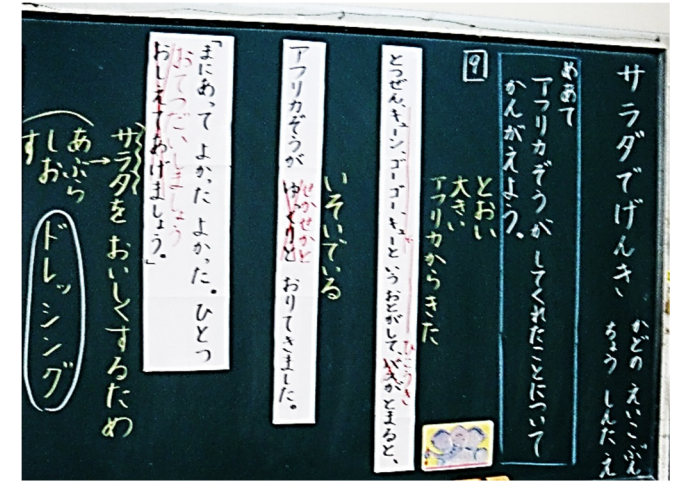
学習したことをしっかり書いたワークシート

ていました。低学年でも日々の積み重ねやワークシートの工夫・児童の様子によっては、今回のような使い方ができる意見が出ました。ペアトーク(話し合い活動)についても意見が出され、1年生としてどこまで話し合いができるようにするか、また低学年ではどうかなど話し合いました。今は“うなずく”・“目を見て聞く”・“話してみる”などを目標に取り組んでいるが、できれば相手の意見を取り入れて話したり、話し合うことによってより考えを深めたりを目標に取り組みたいが、学校として話し合い活動の6年間系統立てた指導を確認することも大切だという話にもなりました。豊島西には コミュニケーション能力育成のための豊島西カリキュラム があるので、それをいかすことも確認しました。また低学年において具体物の提示や視覚的な物、今までの学びをまとめた掲示物など準備は大変だけれど、学習を深めるためには大切な物で、それを日々活用しているからこそ児童の学びが深まっている、日頃の学習の積み重ねがとても表れていた今日の授業だったと意見が出ました。何より一人一人がしっかり学習に参加した授業でした。

低学年のブロック会・事後研では、

児童の実態に応じて、また工夫し作成したワークシートを活用し、学習を深める。低学年は『話し合い活動』のゴールをどこにして指導するか、系統立てて考える。学習を深めるため具体物や具体的な掲示物、視覚的な物を活用する。

などを確認し、事後研を終えました。



わざと間違った短冊を使い、本文の確認